



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,246	△8.3	18	△58.5	48	△13.1	21	△48.1
28年3月期第2四半期	3,541	5.6	44	—	55	419.2	40	△67.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △475百万円(—%) 28年3月期第2四半期 111百万円(△17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	3.08	—
28年3月期第2四半期	5.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,178	8,541	77.8
28年3月期	10,923	9,085	76.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,918百万円 28年3月期 8,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,374	△7.1	23	—	68	—	17	—	2.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名)― 、除外 一社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	7,340,465株	28年3月期	7,340,465株
29年3月期2Q	454,651株	28年3月期	454,351株
29年3月期2Q	6,885,945株	28年3月期2Q	6,887,251株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き景気回復は弱含みで、個人消費は足踏み状態が続きました。また、世界経済においても新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など懸念材料が多く、国内外ともに先行きの不透明感が払拭されません。

アパレルファッション業界や手作りホビー業界においても、節約志向の強まりやインバウンド需要の翳りなどの影響を受けており、縫い糸事業におきましても全体として厳しい市場環境が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期には国内の工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注があったことや中国事業の苦戦に加え、為替換算レートの日高傾向への推移もあって、3,246百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

一方利益面は、前述の国内の工業用縫い糸の価格改正や事業収益改善のための諸策の成果もあり、収益性は改善傾向にあります。為替レートが円高に推移したことによる利益率改善に伴う未実現利益消去額の増加などもあり、営業利益は18百万円（前年同期比58.5%減）、経常利益は48百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

## 日本

当期間における国内消費は、引き続き弱含みで節約志向も強まる傾向にあることに加え、消費の下支えとなってきた訪日外国人による所謂インバウンド需要にも翳りが見られ、衣料品や手作りホビー分野の消費も全体として低調に推移しました。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成28年4月から9月まで、国内子会社は平成28年2月から7月までの業績が連結されているため、それらの影響度合いは会社毎に若干の相違があるものの、前年同期には国内の工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注があったことや、価格改正を機に不採算製品の見直しも実施したため、当セグメントの売上高は2,588百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

一方利益面は、売上高の減少はあったものの、前述の工業用縫い糸の価格改正や不採算製品の見直しを始め、国内事業収益改善のための諸策の成果も徐々に出始めており、セグメント利益は15百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

## アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成28年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間も日本における衣料品消費の低調により、日本向け衣料品の生産は、国内外共に抑制傾向が続きました。特に中国においては、縫製の東南アジア諸国への分散傾向が続いている要因も加わって、当社グループの中国事業は、受注低迷や工場操業度の低下など、厳しい経営環境が続いております。

タイおよびベトナムの子会社においては引き続き売上高が増加しましたが、為替換算レートが円高傾向に推移したこともあって、当セグメントの売上高は658百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

一方利益面では、為替レートが円高傾向に推移したことで、中国子会社における輸出売上高の収益性が改善したことなどにより、セグメント利益は4百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて745百万円減少し、10,178百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少71百万円、たな卸資産の減少329百万円、固定資産では、有形固定資産の減少267百万円、投資その他の資産の減少41百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて200百万円減少し、1,637百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少131百万円、退職給付に係る負債の減少21百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて544百万円減少し、8,541百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少70百万円、為替換算調整勘定の減少346百万円、非支配株主持分の減少132百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内外共に先行きの不透明な状況が続くものと思われ、当社グループを取り巻く事業環境は今後も厳しさが予想されます。

当社グループといたしましては、このような事業環境を踏まえつつも、事業収益改善のための諸策を地道に継続するほか、中国事業の回復を始め、海外販売のさらなる拡充に注力するなど、引き続きグループ一丸となって中長期の諸課題に取り組み、徐々に表れつつある成果をさらに拡大してグループとしての収益回復に努めてまいります。

このような事業環境から、通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等も踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳しくは、平成28年11月9日に公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

### (2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,289,855	2,218,661
受取手形及び売掛金	1,545,265	1,583,488
電子記録債権	69,997	82,710
たな卸資産	3,077,153	2,747,855
その他	164,981	108,231
貸倒引当金	△13,754	△11,242
流動資産合計	7,133,498	6,729,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,572,362	1,354,899
その他(純額)	782,302	732,184
有形固定資産合計	2,354,665	2,087,084
無形固定資産		
その他	275,519	242,790
無形固定資産合計	275,519	242,790
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,163,341	1,122,173
貸倒引当金	△3,312	△3,745
投資その他の資産合計	1,160,029	1,118,428
固定資産合計	3,790,213	3,448,303
資産合計	10,923,712	10,178,009
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	577,984	446,010
未払法人税等	22,003	19,976
賞与引当金	60,813	60,456
その他	328,719	288,338
流動負債合計	989,521	814,782
固定負債		
長期借入金	278,400	273,789
役員退職慰労引当金	198,538	195,151
退職給付に係る負債	123,473	101,488
資産除去債務	20,547	20,584
その他	227,252	231,210
固定負債合計	848,212	822,223
負債合計	1,837,733	1,637,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,104,787	6,034,314
自己株式	△108,193	△108,287
株主資本合計	7,677,933	7,607,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,372	202,594
為替換算調整勘定	567,470	221,090
退職給付に係る調整累計額	△121,057	△112,531
その他の包括利益累計額合計	652,786	311,153
非支配株主持分	755,259	622,482
純資産合計	9,085,978	8,541,002
負債純資産合計	10,923,712	10,178,009

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,541,838	3,246,937
売上原価	2,593,787	2,352,172
売上総利益	948,051	894,765
販売費及び一般管理費	903,241	876,167
営業利益	44,809	18,597
営業外収益		
受取利息	2,658	3,145
受取配当金	16,421	11,628
売電収入	6,552	6,811
その他	13,590	20,318
営業外収益合計	39,222	41,904
営業外費用		
支払利息	7,130	6,749
為替差損	13,699	—
売電費用	4,492	4,011
その他	3,449	1,737
営業外費用合計	28,772	12,497
経常利益	55,259	48,004
特別損失		
固定資産売却損	47	—
固定資産除却損	44	568
減損損失	103	—
特別損失合計	195	568
税金等調整前四半期純利益	55,064	47,436
法人税、住民税及び事業税	17,151	21,611
法人税等調整額	△5,957	4,000
法人税等合計	11,193	25,612
四半期純利益	43,870	21,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,052	623
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,818	21,200



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	43,870	21,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,742	△3,777
為替換算調整勘定	72,602	△502,256
退職給付に係る調整額	12,942	8,526
その他の包括利益合計	67,802	△497,507
四半期包括利益	111,673	△475,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,992	△320,431
非支配株主に係る四半期包括利益	31,681	△155,252

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,774,520	767,318	3,541,838	—	3,541,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,633	352,853	502,487	△502,487	—
計	2,924,154	1,120,171	4,044,326	△502,487	3,541,838
セグメント利益	12,225	2,945	15,171	29,638	44,809

(注) 1. セグメント利益の調整額29,638千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,588,891	658,046	3,246,937	—	3,246,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117,523	316,747	434,271	△434,271	—
計	2,706,414	974,794	3,681,209	△434,271	3,246,937
セグメント利益	15,043	4,969	20,013	△1,415	18,597

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,415千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。